

**地域の生活課題の現場**

**地域住民(生活者)**

**基本理念** すべての人が互いを認め合い、支え合い、共に輝きつづける 安心と活力のまち 宝塚

**視点** ・人と人との「つながり」を大切に  
・協働して取り組む

・地域特性を尊重し、地域の社会資源を活用する  
・エリアを設定し、ネットワークを形成する

参加・提案・相談

支援・協働解決

相談

個別支援

**地域の自主運営会議**

**各種行政機関・専門職・専門機関**

- ・会議活性化を支援
- ・解決困難な事例を集約
- ・セーフティネット会議の内容を還元

地域福祉コーディネーター  
社会福祉協議会地区センター

**地域ささえあい会議(自治会等)**  
・小エリアで住民と行政、専門職が話し合う  
・住民に最も近いエリアでニーズを把握

**校区ネットワーク会議(小学校区)**  
・中エリアで住民と行政、専門職が話し合う  
・多様な地域資源を発見・発掘

**セーフティネット連絡会(各ブロック)**  
・大エリアで住民と行政、専門職が話し合う  
・7ブロックで各団体の実務連携

- ・公的サービスを充実
- ・細やかな個別支援
- ・各エリアを意識して活動
- ・エリアごとに住民、他分野他職種と連携

(福祉関係機関)  
生活福祉資金担当、安心サポートセンター、権利擁護支援センター、地域包括支援センター、障がい相談機関、ケアマネジャー、ホームヘルパー、地区センター、ボランティアセンター、くらしサポーター、地域福祉コーディネーター、等

(行政機関)  
いきがい福祉課、障害福祉課、生活援護課、介護保険課、健康推進課、家庭児童相談室、健康福祉事務所、警察、等

(会議)  
地域ケア会議、等

連携・協力

セーフティネット会議の内容の報告、支援

生活課題の事例の報告・提供

**宝塚市地域福祉推進検討会**

- ・市の課長級職員で構成
- ・庁内連携の促進
- ・具体的な取組の支援

いきがい福祉課、健康推進課、介護保険課、障害福祉課、生活援護課、政策推進課、市民協働推進課、総合防災課、人権男女共同参画課、子ども政策課、子育て支援課、保育課、子ども家庭支援センター、学校教育課、社会教育課

連携・協力

**地域を支援する場**

**セーフティネット会議**

**【役割】**

- ・公的制度だけでは解決困難な生活課題を議論 ⇒ 認識を共有
- ・課題解決の方向性や解決方策を示す ⇒ ルールづくり
- ・関係団体等の連携促進のため連絡・調整 ⇒ 顔の見える関係づくり

**【構成】**

- 自治会連合会
- 民生委員・児童委員連合会
- まちづくり協議会
- 市関係部局
- 当事者団体
- 老人クラブ連合会
- 社会福祉協議会
- 事業者、各種関係機関等
- ボランティア等の市民団体
- 知識経験者(大学等)

**事務局(社会福祉協議会・市いきがい福祉課)**

- ・事例を課題に転換し、セーフティネット会議の議題を整理
- ・実務担当者が集まるワーキングチームを調整

**セーフティネットシステムの運用**

- ①地域単位で、住民と行政、専門職等が生活課題を解決するよう協議、実践する。
  - ↓
  - ②協議、実践を繰り返し、蓄積される事例を社会福祉協議会が集約する。
  - ↓
  - ③セーフティネット会議事務局が集約された事例を、普遍的な課題に転換する。
  - ↓
  - ④セーフティネット会議で課題解決方策を検討し、地域で実践することを支援する。
  - ↓
  - ⑤その解決方法を地域で実践する。
- 以下、①～⑤のサイクルで運用